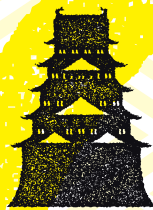


入場無料



平成30年春の特別展

江戸幕府 最後の闘い

— 幕末の「文武」改革 —



平成 **30** 年 **3** 月 **31** 日(土) ~ **5** 月 **6** 日(日)

期間中無休

開催時間: 月~水・土・日・祝 9:45~17:30まで / 木・金(祝を除く) 9:45~20:00まで

※入館は閉館の30分前まで

主催: 独立行政法人国立公文書館

独立行政法人

国立公文書館

NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

江戸幕府、最後の闘い

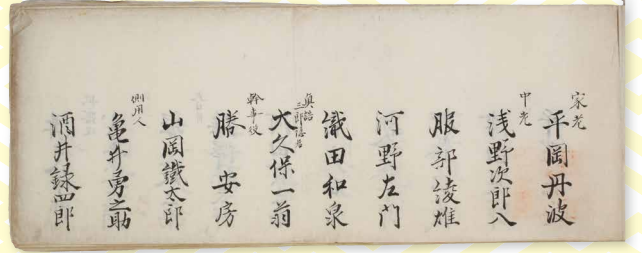
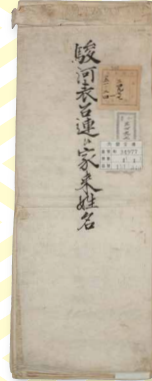
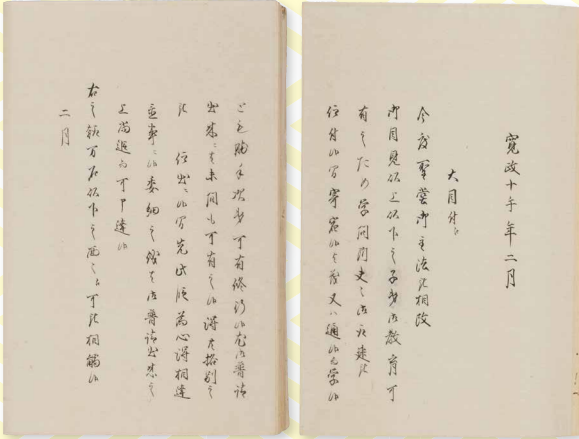
——幕末の「文武」改革——

平成30年(2018)は明治元年(1868)から満150年を迎える年に当たります。春の特別展では、明治前夜、幕末期の江戸幕府に焦点を当て、当館所蔵の江戸幕府公文書である「多聞櫓文書」を中心に、幕末期の江戸幕府の「文武」改革について取り上げます。こうした改革が可能になった背景や、維新後に新政府で活躍する幕臣たちのその後も合わせて展示し、明治の近代国家建設の端緒を江戸幕府の側からご紹介いたします。

主な展示資料

おふれがき
「御触書」

するがおもてめしつれそうらけらいせいめい
「駿河表召連候家来姓名」

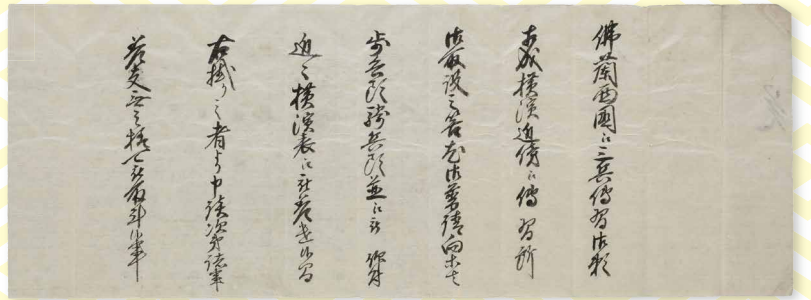


▲慶応4年(1868)7月、徳川家の駿河移封が決まりました。資料は、随行する家臣団の名簿です。家老に若年寄の平岡丹波道弘(安房国船形藩主)、幹事役に勝安房(海舟)と山岡鉄太郎(鉄舟)、また、蕃書調所総裁として活躍した大久保一翁(忠寛)の名も見えます。

▲寛政9年(1797)、幕府御儒者の林家の私塾だった聖堂や付属の学舎が幕府直轄の教育機関(昌平坂学問所)とされ、全国の武士教育の中心となりました。資料は、幕府が編集した法令集である「御触書」。今回展示する寛政年間(1797)のものは、天保8年(1837)に12家慶が將軍職を嗣いだ時に、天明8年(1788)から天保8年までの法令の編集を開始し、天保12年に完成させたもので、天保集成と呼ばれます。

▶慶応2年(1866)12月、横浜近郊に伝習所を設けた幕府は、フランスから招いた軍事顧問の下で本格的な陸軍訓練を開始しました。資料は、江戸城多聞櫓に収められていた幕末期の文書の一つ。フランスへの砲・騎・歩の陸軍三兵の訓練依頼、伝習所の建設、歩兵頭・騎兵頭並の横浜への派遣について記されています。

ふらんすこくへさんべいでんしゅうおたのみあいなりよこはまおもてへでんしゅうじょうおとりたてのぎにつきおぼえ
「仏蘭西国江三兵伝習御頼相成横浜表江伝習所御取建之儀ニ付覚」



記念講演会

参加申込受付中!

日時 平成30年4月8日(日)14:00~16:15(受付開始13:30)

会場 一橋大学一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階) 参加費 無料 定員 494名

申込期間 ~3月23日(金)

申込方法

メール本文に下記の①~③を記入の上、
bakumatsu@bun.co.jp

までお送りください。

- ①参加者氏名 ②参加希望人数
- ③電話番号(自宅/携帯電話)

お問い合わせ:03-5770-7114

(平成30年春の特別展 記念講演会事務局)

展示解説会

企画担当者による解説を行います。

開催日時 4月25日(水)11:00~

開催場所 国立公文書館4階会議室

参加費 無料(定員:90名)

解説会当日の10時から、当館1階受付において、入場整理券をお配りします。

芳賀 徹 氏
(東京大学名誉教授)



1931年生まれ。東京大学教養学部教授、プリンストン大学客員研究員、国際日本文化研究センター教授、京都造形芸術大学学長、岡崎市美術館、静岡県立美術館の館長などを経て、国際日本文化研究センター名誉教授、東京大学名誉教授。主な著書に『渡辺華山・優しい旅びと』、『明治維新と日本人』、『みだれ髪の家系』、『平賀源内』(サントリー学芸賞)、『絵画の領分—近代日本比較文化史研究』(大佛次郎賞)、『藝術の国日本—一文交響』(蓮如賞)、『大君の使節—幕末日本人の西欧体験』、『文明としての徳川日本 一六〇三—一八五三年』など

ロバート キャンベル 氏
(国文学研究資料館長)



ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時代の文学、特に江戸中期からの明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。テレビでMCやニュース・コメンテーター等をつとめる一方、新聞雑誌連載、書評、ラジオ番組出演など、さまざまなメディアで活躍中。主な出演番組に『スッキリ!!』(日本テレビ系)、『Face to Face』(NHK国際放送)、主な著書に『ロバート キャンベルの小説家神髄 現代作家6人との対話』、『Jブンガク—英語で出会い、日本語を味わう名作50』など

国立公文書館

公式HP
http://www.archives.go.jp/

Facebook
@JPNatArchives

Twitter
@JPNatArchives



独立行政法人

国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3番2号

TEL 03-3214-0621

アクセス 地下鉄東西線竹橋駅下車
(1b出口・徒歩5分)